

「異字同訓」の漢字の使い分け〈サ～ナ行〉（素案・改）

サ～ナ行で、44項目

さがす

【探す】欲しいものを尋ね求める。

貸家を探す。仕事を探す。講演の題材を探す。他人の粗を探す。

【捜す】見えなくなったものを尋ね求める。

うちの中を捜す。犯人を捜す。紛失物を捜す。行方不明者を捜す。

さく

【裂く】破る。引き離す。

布を裂く。生木を裂く。二人の仲を裂く。ハンカチを引き裂く。

【割く】一部を分け与える。

時間を割く。紙面を割く。警備のために人手を割く。

さげる

【下げる】低くする。下に垂らす。

値段を下げる。室温を下げる。問題のレベルを下げる。等級を下げる。軒を下げる。

【提げる】つるすように手に持つ。

手に提げる。手提げかばん。手提げ金庫。

さす

【差す】挟み込む。かざす。注ぐ。生じる。

腰に刀を差す。抜き差しならぬ。傘を差す。日が差す。目薬を差す。差しつ差されつ。顔に赤みが差す。嫌気が差す。魔が差す。

【指す】方向・事物などを明らかに示す。

目的地を指して進む。名指しをする。指し示す。

【刺す】とがった物を突き入れる。刺激を与える。野球でアウトにする。

針を刺す。蜂に刺される。串刺しにする。鼻を刺す嫌な臭い。本塁で刺される。

【挿す】細長い物の中に入れる。

花瓶に花を挿す。髪にかんざしを挿す。一輪挿し。

さます・さめる

【覚ます・覚める】睡眠や迷いなどの状態から戻る。

太平の眠りを覚ます。迷いを覚ます。目が覚める。寝覚めが悪い。

【冷ます・冷める】温度を下げる。高ぶった感情などを冷やす。

湯冷まし。湯が冷める。料理が冷める。熱が冷める。興奮が冷める。

さわる

【触る】触れる。関わり合う。
そっと手で触る。政治的な問題には触らない。

【障る】害や妨げになる。不快になる。
激務が体に障る。出世に障る。気に障る言い方。

しずまる・しずめる

【静まる・静める】動きがなくなり落ち着く。
心が静まる。嵐が静まる。鳴りを静める。気を静める。

【鎮まる・鎮める】押さえ付けて落ち着かせる。鎮座する。
内乱が鎮まる。反乱を鎮める。痛みを鎮める。せきを鎮める薬。み霊が鎮まる。

【沈める】水中などに没する。低くする。
船を沈める。ベッドに身を沈める。身を沈めて銃弾をよける。

しぼる

【絞る】ねじって水分を出す。無理に出す。小さくする。
手拭いを絞る。知恵を絞る。声を振り絞る。範囲を絞る。音量を絞る。

【搾る】締め付けて液体を取り出す。無理に取り立てる。
乳を搾る。ゴマの油を搾る。年貢を搾り取られる。

しまる・しめる

【締まる・締める】緩みのないようにする。区切りを付ける。
ひもが締まる。帯を締める。ねじを締める。引き締まった顔。心を引き締める。
財布のひもを締める。羽交い締め。売上げを月末で締める。申し込みの締め切り。

【絞まる・絞める】首の周りを強く圧迫する。
ネクタイで首が絞まって苦しい。柔道の絞め技。自らの首を絞める発言。

【閉まる・閉める】開いているものを閉じる。
戸が閉まる。カーテンが閉まる。蓋を閉める。店を閉める。扉を閉め切りにする。

すすめる

【進める】前や先に動かす。はかどる。
前へ進める。時計を進める。交渉を進める。議事を進める。

【勧める*】そうするように働き掛ける。
入会を勧める。転地を勧める。読書を勧める。辞任を勧める。

【薦める*】推薦する。
候補者として薦める。良書を薦める。お薦めの銘柄。

* 「勧める」と「薦める」の使い分けについては、動作性のある行為に対して、その行為をするように働き掛けたり、促したりする場合に「勧める」を用い、ある人物や物事がそれにふさわしい、望ましいとして推薦する場合に「薦める」を用いる。

する

【刷る】印刷する。

名刺を刷る。新聞を刷る。版画を刷る。社名を刷り込む。刷り物。

【擦る】こする。

転んで膝を擦りむく。マッチを擦る。擦り傷。洋服が擦り切れる。

すわる

【座る】腰を下ろす。ある位置や地位に就く。

椅子に座る。上座に座る。社長のポストに座る。

【据わる】安定する。動かない状態になる。

赤ん坊の首が据わる。目が据わる。腹の据わった人物。

せめる サイン（責：9250，攻：69000）め。 握手（責：5750，攻：32200）め。

【攻める】攻撃する。

敵の陣地を一気に攻める。積極的に攻め込む。兵糧攻めにする。質問攻め。

【責める】非難する。苦しめる。~~せがむ。~~

過失を責める。無責任な言動を責める。自らを責める。拷問で責められる。

~~おもちゃが欲しいと子供に責められる。~~

そう

【沿う】長く続いているもの、決まりなどから離れずに行う。

川沿いの家。線路に沿って歩く。決定された方針に沿って行動する。

希望に沿（添）う。

【添う】そばに付いている。夫婦になる。

母に添って歩く。病人の付き添い。反対を押し切って添い遂げる。連れ添う。

そなえる・そなわる

【備える・備わる】準備する。具備する。

台風に備える。調度品を備える。老後の備え。必需品は全て備わっている。

各部屋に消火器を備える。人徳が備わる。

【供える】神仏などの前に物をささげる。

お神酒を供える。霊前に花を供える。さかきを供える。お供え物。

たえる

【耐える】苦しいことや外部の圧力などをこらえる。

重圧に耐える。苦痛に耐える。猛暑に耐える。風雪に耐える。困苦欠乏に耐える。

【堪える】その能力や価値がある。その感情を抑える。

任に堪える。批判に堪える学説。鑑賞に堪えない。見るに堪えない作品。

憂慮に堪えない。遺憾に堪えない。

たずねる

- 【尋ねる】問う。探し求める。調べる。
道を尋ねる。研究者に尋ねる。失踪した友人を尋ねる。尋ね人。由来を尋ねる。
- 【訪ねる】おとずれる。
知人を訪ねる。史跡を訪ねる。古都を訪ねる旅。知人が訪ねてくる。

たたかう

- 【戦う】武力や知力などを使って争う。勝ち負けや優劣を競う。
敵と戦う。選挙で戦う。優勝を懸けて戦う。意見を戦わせる。
- 【闘う】困難や障害などに打ち勝とうとする。闘争する。
病気と闘う。貧苦と闘う。寒さと闘う。自分との闘い。労使の闘い。

たつ

- 【断つ】つながっていたものを切り離す。やめる。
退路を断つ。国交を断（絶）つ。関係を断（絶）つ。快刀乱麻を断つ。酒を断つ。
- 【絶つ】続くはずのものを途中で切る。途絶える。
命を絶つ。縁を絶つ。消息を絶つ。望みが絶たれる。後を絶たない。
- 【裁つ】布や紙をある寸法に合わせて切る。
生地を裁つ。着物を裁つ。紙を裁つ。裁ちばさみ。

たつ・たてる

- 【立つ・立てる】直立する。ある状況・立場に身を置く。離れる。成立する。
演壇に立つ。鳥肌が立つ。優位に立つ。岐路に立つ。使者に立つ。席を立つ。
見通しが立つ。計画を立てる。手柄を立てる。評判が立つ。相手の顔を立てる。
- 【建つ・建てる】建物や国などを造る。
家が建つ。ビルを建てる。銅像を建てる。一戸建ての家。国を建てる。都を建てる。

たつとい・とうとい・たつとぶ・とうとぶ

- 【尊い・尊ぶ】尊厳があり敬うべきである。
尊い神。尊い犠牲を払う。神仏を尊ぶ。祖先を尊ぶ。
- 【貴い・貴ぶ】貴重である。
貴い資料。貴い体験。和をもって貴しとなす。時間を貴ぶ。

たま

- 【玉】宝石。円形や球体のもの。
玉を磨く。玉にきず。運動会の玉入れ。シャボン玉。玉砂利。善玉悪玉。
- 【球】球技に使うボール。電球。
速い球を投げる。決め球を持っている。ピンポン球。電気の球。

【弾】弾丸。
拳銃の弾。大砲に弾を込める。流れ弾に当たってけがをする。

つかう

【使う】人や物などを用いる。
人を使う。通勤に車を使う。重油を使う。機械を使って仕事をする。予算を使う。
道具を使う。人間関係に神経を使う。頭を使う。大金を使う。体力を使う仕事。

【遣う*】十分に働かせる。
心を遣（使）う。気を遣（使）う。安否を気遣う。息遣いが荒い。心遣い。言葉遣い。
仮名遣い。筆遣い。人形遣い。上目遣い。無駄遣い。金遣い。小遣い銭。

* 現在の表記実態としては、「使う」が広く用いられる関係で、「遣う」を動詞の形で用いることは少なく、「〇〇遣い」と名詞の形で用いることがほとんどである。特に、心の働き、技や金銭などに関する「〇〇遣い」の場合に多く使う。

つく・つける

【付く・付ける】付着する。加わる。働かせる。
墨が顔に付く。足跡が付く。利息が付く。名を付ける。知識を身に付ける。
条件を付ける。味方に付く。付け加える。目に付く。気を付ける。

【着く・着ける】達する。ある場所を占める。着る。
手紙が着く。東京に着く。船を岸に着ける。車を正面玄関に着ける。席に着く。
衣服を身に着ける。

【就く・就ける】仕事、役職、状況などに身を置く。
職に就く。役に就ける。床に就く。緒に就く。帰路に就く。眠りに就く。

つぐ

【次ぐ】すぐ後に続く。
事件が相次ぐ。首相に次ぐ実力者。富士山に次ぐ山。取り次ぐ。次の日。

【継ぐ】後を受けて続ける。足す。
跡を継ぐ。引き継ぐ。布を継ぐ。言葉を継ぐ。継ぎ目。継ぎを当てる。

【接ぐ】つなぎ合わせる。
骨を接ぐ。新しいパイプを接ぐ。接ぎ木。

つくる 刺身に（作：66.3万，造：1.35万）

【作る】こしらえる。
米を作る。規則を作る。新記録を作る。計画を作る。詩を作る。笑顔を作る。
会社を作る。機会を作る。組織を作る。

【造る】大きなものをこしらえる。醸造する。
船を造る。庭園を造る。宅地を造る。道路を造る。数寄屋造りの家。酒を造る。

【創る*】独創性のあるものを生み出す。
新しい文化を創（作）る。画期的な商品を創（作）り出す。

* 一般的には「創る」の代わりに「作る」と表記しても問題ないが、事柄の「独創性」を特に強調したい場合に「創る」を使う。

つつしむ

【**慎む**】控え目にする。
身を慎む。酒を慎む。言葉を慎む。

【**謹む**】かしこまる。
謹んで承る。謹んで祝意を表する。

つとまる・つとめる

【**勤まる・勤める**】給料をもらって仕事をする。仕事を行う。
この会社は私には勤まらない。銀行に勤める。永年勤め上げた人。勤め人。
本堂でお勤めをする。法事を勤める。

【**務まる・務める**】役目や任務を果たす。
彼には主役は務まらない。会長が務まるかどうか不安だ。議長を務める。
親の務めを果たす。

【**努める**】力を尽くす。努力する。
完成に努める。解決に努める。努めて早起きする。

とかす・とく・とける

【**解かす・解く・解ける**】液状にする。答えを出す。なくす。
氷を解かす。雪解け。問題を解く。結び目を解く。ひもが解ける。包囲を解く。
疑いが解ける。会長の任を解く。

【**溶かす・溶く・溶ける**】固形物などを液体に入れて混ぜ合わせる。一体となる。
絵の具を溶かす。砂糖が水に溶ける。小麦粉を水で溶く。地域社会に溶け込む。

- ※① 11月27日20時現在……氷を(解:64700, 溶:14100, 融:46800)か(す)
氷が(解:140万, 溶:327万, 融:78.8万)け(る)
雪が(解:29.2万, 溶:47.7万, 融:14.8万)け(る)
雪(解:220万, 溶:11.5万, 融:13.5万)け
- ② <溶> 昭和23年(ヨウ/とける) → 昭和48年(ヨウ/とける・とかす・とく)
<解> 昭和23年(カイ・ゲ/とく) → 昭和48年(カイ・ゲ/とく・とかす・とける)
- ③ 鉄(金属)をとかす。(溶鉱炉。溶接) 熔・鎔→溶
- ④ 「新聞用語集」→雪を溶かして水にする。/氷が解ける。
⑤ 「記者ハンドブック」→雪・氷を溶かす〔人工的〕/雪・氷を解かす〔自然現象〕
⑥ 国語辞典における「とかす・とける」の扱いについては、「別紙」を参照。

ととのう・ととのえる

【**整う・整える**】乱れがない状態になる。
体制が整う。整った文章。隊列を整える。身辺を整える。呼吸を整える。

【**調う・調える**】必要なものがそろう。望ましい状態にする。
家財道具が調う。晴れ着を調える。費用を調える。味を調える。

とぶ

【**飛ぶ**】空中を移動する。速く移動する。広まる。順序を超えて進む。
鳥が空を飛ぶ。海に飛び込む。アメリカに飛ぶ。家を飛び出す。デマが飛ぶ。
うわさが飛ぶ。途中を飛ばして読む。飛び級。飛び石。

【跳ぶ】地面を蹴って高く上がる。

溝を跳ぶ。三段跳び。跳び上がって喜ぶ。跳びはねる*。うれしくて跳び回る。跳び箱。

*「跳」は、常用漢字表に「はねる」と「とぶ」の二つの訓が採られているので、「跳び跳ねる」と表記することができるが、読みやすさを考えて「跳びはねる」と表記することが多い。

とまる・とめる

【止まる・止める】動きがなくなる。

交通が止まる。水道が止まる。小鳥が木の枝に止（留）まる。笑いが止まらない。息を止める。通行止め。止まり木。

【留まる・留める】固定される。感覚に残る。とどめる。

ピンで留める。ボタンを留める。目に留まる。心に留める。留め置く。局留めで送る。

【泊まる・泊める】宿泊する。停泊する。

宿直室に泊まる。友達を家に泊める。船が港に泊まる。

とらえる

【捕らえる】取り押さえる。

犯人を捕らえる。獲物の捕らえ方。密漁船を捕らえる。

【捉える】的確につかむ。

文章の要点を捉える。問題の捉え方が難しい。真相を捉える。

とる マグロを（取：56万，捕：9.47万）る

【取る】手で持つ。手に入れる。書き記す。つながる。除く。

手に取る。ペンを取る。魚を取る*。資格を取る。新聞を取る。政権を取る。年を取る。メモを取る。連絡を取る。着物の汚れを取る。疲れを取る。痛みを取る。

【採る】採取する。採用する。採決する。

血を採る。きのこを採る。指紋を採る。高校の卒業生を採る。会議で決を採る。

【執る】手に持って使う。役目として事に当たる。

筆を執る。事務を執る。指揮を執る。政務を執る。式を執り行う。

【捕る】つかまえる。

ねずみを捕る。鯨を捕る。外野フライを捕る。生け捕る。捕り物。

【撮る】撮影する。

写真を撮る。映画を撮る。ビデオカメラで撮る。

*「魚をとる」の「とる」は「手に入れる」という意味で「取」が用いられるが、「つかまえる」という意味で「捕」を当てることがある。

ない

【無い*】（⇔有る・在る）。存在しない。所有していない。

有ること無いこと言い触らす。無くて七癖。無い袖は振れぬ。無い物ねだり。

【亡い】死んでこの世にいない。

今は亡い人。友人が亡くなる。亡き父をしのぶ。

* 「今日は授業がない」「時間がない」「金がない」などの「ない」は、漢字で書く場合、「無」を当てるが、現在の表記実態から考えると、仮名書きの「ない」が一般的である。

なおす・なおる

【直す・直る】正しい状態に戻す。置き換える。
誤りを直す。機械を直す。服装を直す。故障を直す。ゆがみが直る。
仮名を漢字に直す。

【治す・治る】病気やけがから回復する。
風邪を治す。けがが治る。傷を治す。治りにくい病気。

なか

【中】(⇔外)。ある範囲や状況の内側。中間。
箱の中。家の中。クラスの中で一番足が速い。嵐の中を帰る。両者の中に入る。

【仲】人と人との関係。
仲がいい。仲を取り持つ。仲たがいする。話し合って仲直りする。犬猿の仲。

ながい

【長い】(⇔短い)。距離や時間などの間隔が大きい。
長い髪の毛。長い道。長い年月。気が長い。枝が長く伸びる。長続きする。
長い目で見る。

【永い】永久・永遠と感じられるくらい続くさま。
永い眠りに就く。永の別れ。永くその名を残す。永のいとまを告げる。
末永(長)く契る。

ならう

【習う】教わる。繰り返して身に付ける。
先生にピアノを習う。英語を習う。習い覚えた技術。習い性となる。見習う。

【倣う】手本としてまねる。
前例に倣う。西洋に倣った法制度。先人のひそみに倣う。

におい・におう

【匂い・匂う】主として良いにおい。
梅の花の匂い。香水がほのかに匂う。

【臭い・臭う】主として不快なにおいや好ましくないにおい。
魚の腐った臭い。生ごみが臭う。ガスが臭う。

のせる・のる

【乗せる・乗る】乗り物に乗る。運ばれる。応じる。
バスに乗る。タクシーに乗せて帰す。電車に乗って行く。電波に乗せる。
風に乗って飛ぶ。時流に乗る。相談に乗る。計略に乗せる。

【載せる・載る】積む。上に置く。掲載する。
自動車に荷物を載せる。棚に本を載せる。机に載っている本。新聞に載った事件。
雑誌に広告を載せる。名簿に載る。

のぞむ

【望む】遠くを眺める。希望する。
山頂から富士を望む。世界の平和を望む。多くは望まない。

【臨む】面する。参加する。対する。
海に臨む部屋。式典に臨む。試合に臨む。厳罰をもって臨む。難局に臨む。

のばす・のびる・のべる

【伸ばす・伸びる・伸べる】まっすぐする。増す。そのものが長くなる。差し出す。
手足を伸ばす。旅先で羽を伸ばす。伸び伸びと育つ。勢力を伸ばす。草が伸びる。
身長が伸びる。学力が伸びる。手を伸べて助け起こす。救いの手を伸べる。

【延ばす・延びる・延べる】遅らす。つながって長くなる。重複も認め合計する。広げる。
出発を延ばす。開会を延ばす。支払いが延び延びになる。地下鉄が郊外まで延びる。
寿命が延びる。終了時間が予定より10分延びた。延べ1万人の観客。金の延べ棒。

のぼる

【上る】(⇔下る)。上方に向かう。達する。取り上げられる。
階段を上る。坂を上る*。川を上る。出世コースを上る。上り列車。
損害が1億円に上る。話題に上る。うわさに上る。食卓に上る。

【登る】自らの力で高い所へと移動する。
山に登る。木に登る。演壇に登る。崖をよじ登る*。富士山の登り口。

【昇る】(⇔降りる・沈む)。一気に高く上がる。~~昇進する~~
日が昇(上)る。天に昇(上)る。エレベーターで昇る*。高い位に昇る。

*「坂を上る」「崖をよじ登る」「エレベーターで昇る」の「上る」「登る」「昇る」は、「上の方向に移動する」という意味では共通している。この意味で使う「上る」は、広く一般に用いるが、「登る」は急坂や山道などを一步一步確実に上がっていくさま、「昇る」は一気に上がっていくさまを表すのに用いる。

<おくれる>

おくれる

【遅れる】時刻や日時に間に合わない。進み方が遅い。
完成が遅れる。会合に遅れる。手遅れになる。開発の遅れた地域。出世が遅れる。

【後れる】後ろになる。取り残される。
先頭から後(遅)れる。人に後(遅)れを取る。気後れする。後れ毛。死に後れる。

※ ① 先頭から(後:4460, 遅:15.9万)れ。(後:105万, 遅:437万)れを取る。
気(後:76.2万, 遅:2.52万)れ。(後:11.3万, 遅:5970)れ毛。
死に(後:1.5万, 遅:1370)れる。手(遅:733万, 後:2.9万)れ。
(以上, 11月13日22時現在)

② 国語辞典における見出し表記については、「別紙」を参照。

<付>

あたたかい・あたたかだ・あたたまる・あたためる

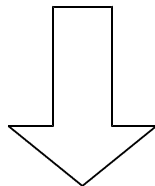
【温かい・温かだ・温まる・温める】(⇔冷たい)。愛情や思いやりが感じられる。
温かい料理。スープを温める。温かな家庭。心温まる話。温かい心。温かい人柄。
温かいもてなし。

【暖かい・暖かだ・暖まる・暖める】(⇔寒い)。主に気象や気温で使う。
日ごとに暖かくなる。暖かな毛布。暖まった空気。室内を暖める。

あつい

【熱い】(⇔冷たい)。温度が高い。感情が高ぶる。
熱い湯。熱くなって論じ合う。熱い声援を送る。

【暑い】(⇔寒い)。気温が高い。
今年の夏は暑い。暑い部屋。暑がり屋。



あたたかい・あたたかだ・あたたまる・あたためる

【温かい・温かだ・温まる・温める】冷たくない。愛情や思いやりが感じられる。
温かい料理。スープを温める。温かな家庭。心温まる話。温かい心。温かい人柄。
温かいもてなし。

【暖かい・暖かだ・暖まる・暖める】寒くない。主に気象や気温で使う。
日ごとに暖かくなる。暖かい日差し。暖かな毛布。暖まった空気。室内を暖める。

あつい

【熱い】温度がとて高く感じられる。感情が高ぶる。
お茶が熱くて飲めない。熱い湯。熱くなって論じ合う。熱い声援を送る。熱い思い。

【暑い】不快になるくらい気温が高い。
今年の夏は暑い。暑さ寒さも彼岸まで。日中はまだまだ暑い。暑い部屋。暑がり屋。

<別紙>

国語辞典における見出し表記等の扱い（「手おくれ」「氷がとける」等）

*は、「おくれ」の子見出しとして掲出され、その語の具体的な表記が示されていないもの。

	日国大辞典 (2版)	新明解 (7版)	岩波 (7版新版)	大辞林 (3版)	現代国語例解 (4版)	明鏡 (2版)
ておくれ	手後・手遅	手遅(れ) ・手後(れ)	手遅れ ・手後れ	手遅れ ・手後れ	手後れ ・手遅れ	手遅れ (手後れ)
きおくれ	気遅・気後	気後(れ)	気後れ	気後れ	気後れ (気遅れ)	気後れ
おくれげ	後毛	*後れ・遅れ ーげ【一毛】	後れ毛	後れ毛	後れ毛	後れ毛
おくればせ	遅馳・後馳	*後れ・遅れ ーばせ【一(馳せ)】	遅れ馳せ	後れ馳せ	遅ればせ (遅れ馳せ ・後れ馳せ)	遅れ馳せ ・後れ馳せ
氷をとかす	【溶・解・融】 ②「とく(溶)ー ②」に同じ。→ 【溶・融】②固形 のものを熱など を加えて液状に する。融解する。 とかす。とろ かす。 (氷に用いるときの 漢字表記なし。)	【溶(か)す・融 (か)す】 ①熱や薬品で、 固体をどろどろ の状態にする。 「氷をー」 〔表記〕①は「解 かす」とも書く。	【溶かす・解か す・融かす・ *梳かす】 ①固まっている ものなどを、 熱によって… 液状にする。 【溶・解・融】 「氷をー」	【溶かす・解か す・融かす】 ①固形物を、熱 を加えて液状に する。溶解する。 「氷をーして水 にする」	【溶かす・解か す(融かす・ 融かす)・ *溶かす・ *融かす】 ②固体上のも のを熱によっ て液状にする。 「氷を解かす」	【溶かす(融か す)】 ②熱や薬品で 固形物を液状に する。 〔表記〕雪や氷 の場合は「解か す」とも
氷がとける	【溶・融】 ②熱などが加わ って、固体が液 状になる。融解 する。とろける。 柔らかくなる。 「解ける」は上 記とは別項目。 (氷に用いるときの 漢字表記なし。)	【溶ける・融け る】 ①雪・霜・氷や 絵の具・飴など が、熱を受けたり 液体にひたさ れたりしてどろど ろ(液状)になる。	【溶ける・解け る・融ける】 ②固まっている ものなどが、 熱によって… 液状になる。 【溶・解・融】 「氷がー」	【溶ける・解け る・融ける】 ②固形物が、熱 によって液状に なる。 別項目としても 「解ける」あり。 (氷に用いるときの 漢字表記なし。)	【溶ける(融け る・融ける・ *溶ける・ *融ける)】 ②熱などが加 わって液状に なる。融解する。 「氷が溶ける」 ▽②は…氷 の場合は「解 」とも書く。	【溶ける(融け る)】 「氷[鉄]がー」 〔表記〕雪や氷 の場合は「解け る」とも
雪どけ	雪解	雪解(け) 〔表記〕「雪融」 とも書く。	雪解け	雪解け ・雪融け	雪解け (雪融け)	雪解け (雪融け)

国立国語研究所 KOTONOHA（少納言）による検索の結果

	後れ	遅れ	おくれ
ておくれ	5	271	36
きおくれ	60	11	25
おくれげ	15	0	10
おくればせ	0	75	9

後毛 2
遅毛 0

	溶	解	融	と(ど)
氷をとか(す)	1	3	0	3
氷がとけ(る)	32	13	8	11
雪どけ	6	97	5	59